

ボローニャ大学への協定留学(交換留学)の月例報告書(2023 年 7 月)

星茉奈佳

【ご挨拶】

皆さんこんにちは。夏本番ですね。SUAC 含め、全国の学校は夏休みに入り、旅行や帰省で大忙しといったところでしょうか。かくいう私も無事に日本に帰国し、約8カ月の留学を終えました。留学の手続きを手伝ってくださった先生方、教務の方、現地でたくさん助けてくれた留学仲間、連絡をしてくれた友達、家族、拙い文を読んでくださった方々、皆さんのおかげで実のある留学生活を送ることが出来ました。この場を借りてお礼申し上げます。

【7月の国外旅行について】

実は1週間ほど、SUAC の卒業生である友人に誘ってもらい、イギリス、ドイツ、オーストリアに旅行に行きました。私はイタリア以外の国に行ったことが無かったのでとてもいい機会になりました。イギリスで現地集合して、彼女の見に行きたいと言っていた教会をたくさん回りました。

イギリスではウエストミンスター寺院、バッキンガム宮殿、エディンバラ城、セントジャイルズ大聖堂を訪れました。どの建造物も荘厳で、落ち着いた雰囲気をしていました。7月中旬でしたがかなり強い風が吹いていて、ダウンジャケットを着ている人もいるほどにとっても寒く、二人でマフラーを買って巻いて歩きました。

ドイツはミュンヘンで、聖ペーター教会や聖母教会など、こちらもとにかく教会を回りました。近い場所に4つほど教会があって驚きました。ミュンヘンで一番のお気に入りにはミュンヘン・レジデンスです。絢爛豪華で広いホールのような部屋のアンティークヴァリウム、金細工の額縁に飾られた肖像画がこれでもかというほど並んでいる祖先画ギャラリー、特にこの祖先画ギャラリーは入ってすぐに出迎えてくれるのでとても感動しました。また、ドイツでは念願のヴルストを食べることが出来ました。

オーストリアではリンツとウィーンに行きました。アドモント修道院やオーストリア国立図書館、ペーター教会など回りました。私のお気に入りにはリンツの旧大聖堂で、ほんのり桃色のように見える祭壇と周りの装飾で使われている白のコントラストは、今まで見てきた中で一番可愛らしく見えました。また、カフェザッハーで本場のザッハトルテを食べることが出来ました。

そのあとローマも観光しましたが、ローマの教会と他3カ国の教会の違いに驚きました。私が今回の旅行で見た中で一番教会の装飾が豪華だったのはイタリア(ローマ)でした。もちろんすべての教会を見たわけではありません。それでもローマの教会の豪華さには言葉を失います。写真はたくさん撮りましたが、肉眼で見た感動は越えられないなとつくづく実感しました。

改めて、留学の機会をくれた皆様と旅行の企画してくれた友人に感謝いたします。

【別送品と国内旅行】

前回の報告書で、日本に荷物を送る際に頼んだ業者に返金されたという話をしました。結局、その会社からは返金対応をされただけで宅配業者が来ることはありませんでした。登録したメールアドレスに依頼された日程は対応不可だった、返金を行った、などの連絡は一切なく、ただひっそりと返金をされただけで終わってしまいました。しかし、帰国まで1カ月もない状況で大きな段ボール1個分の荷物を持ってきたキャリーバッグに入れて持ち帰るのは至難の業です。到底入るような量ではありませんでした。一生懸命調べて、何とか日本の運送企業のミラノ支店に依頼をすることが出来ました。書類の提出や別送品の中身に関して、かなり細かく求められましたが、最初から最後まで日本人の方がやり取りしてくれました。無事に発送を終えることができ、あとは関税を通過して自分のもとに届くのを待つのみです。他の運送会社に頼んでもよかったのですが、7月の終わりごろはかなり日付が限られており、私の都合のいい日に発送できる業者がありませんでした。皆さんが荷物を送る際は余裕のある発送を心がけてくださいね。

また、この発送の願いをしながら一人でナポリに行きました。実は一人でイタリア旅行をするのはこれが初めてでした。ナポリの治安がとても心配でしたが、駅前が少し落ち着きがない程度で、それ以外の場所は特に問題なく過ごせました。行った場所はポンペイとカプリ島とポジリポの丘です。すべてイタリアが舞台になった漫画に出てきた場所で、イタリアにいるうちに絶対に行きたいと思い計画にねじ込みました。

ポンペイは日差しが強く汗だくになりながら、犬の床絵を見て、ひとしきり歩き回りました。ここに人がいたんだよなと思うとちょっとしたタイムトラベルをした気分になりました。カプリ島にはナポリから船で向かい、展望台を目指して直線で1kmある階段を登りました。イタリアに来て海を見る機会がほぼなかったのですが、ものすごくきれいで圧巻されました。ポジリポの丘も坂が急で、体力がない私にはかなりハードでしたが、これも太陽と海とナポリの景色が目に飛び込んでくるとその疲れもどこかへ行ってしまいました。ナポリを見てから死ねとはよく聞きますが、心が置き去りになるぐらい、その景色に吸い込まれそうになりました。観光地メインで行動したため、ナポリの街中を散策することはできませんでしたが、機会があれば街も行きたいです。

【おわりに】

留学を終えて、自分の中で何かが変わったとか、ものすごく成長できたとか、そういったことは正直あまり実感できていません。それでも、いつかこの経験が自分の背中を後押ししてくれるものになると信じています。ご支援を賜った方に加え、イタリアそのものに興味を持つきっかけをくれて、一人旅を支えてくれた漫画達にも感謝しています。そして、この報告書が次に留学を考えている方の背中を少しでも後押しできるなら、本望です。

読んでくださった皆様、ここまでお付き合いいただきありがとうございました。

また、留学を支えてくださった皆様に重ねてお礼申し上げます。

Arrivederci !



左:ポンペイ遺跡の犬の床絵

右:カプリ島の展望台から見た景色